

ピーマンのウイルス病防除対策に係る検討会を開催しました

令和6年6月14日（金）、鹿嶋市、神栖市の農政担当者とピーマン生産組織の実務担当者、茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所と普及センター担当者21名が集まって、ピーマン病害虫の防除対策について検討を行いました。

まず、普及センターが調査したウイルス病の発生状況について情報共有したのち、①ウイルス病対策資料、②ウイルス病診断受診の促進チラシ、③ウイルス病対策講習会のスケジュール、④資材販売店等の関係業者へのウイルス病まん延防止の協力依頼について検討しました。

出席者からは、特に黄化えそ病対策は地域全体で取り組む必要があり、媒介虫のアザミウマ類防除については様々なルートで情報周知する必要がある、との意見があり、ウイルス病対策を地域全体に啓発活動する必要性を再確認しました。

今年も夏から冬にかけて、普及センター、市、生産者組織の連携により、様々な場所で講習会を開催するとともに、関係業者等の協力を得て広く情報を周知し、ウイルス病のまん延防止対策を普及する予定です。

鉾田地域農業改良普及センター（成長産業）



昨年のウイルス病まん延防止講習会の様子